

「県民割、府民割」関連のコメント(現状判断)

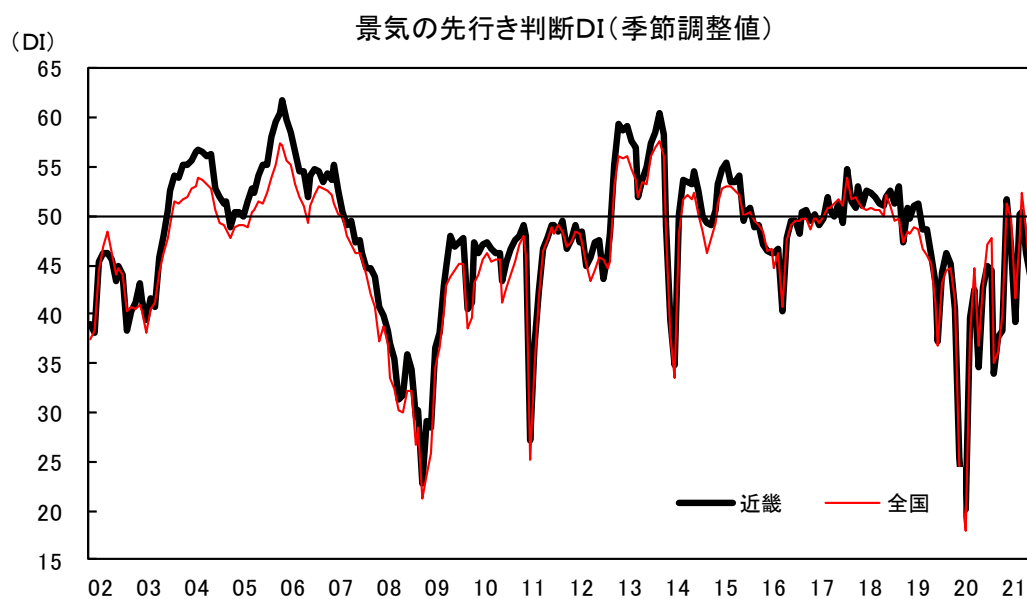
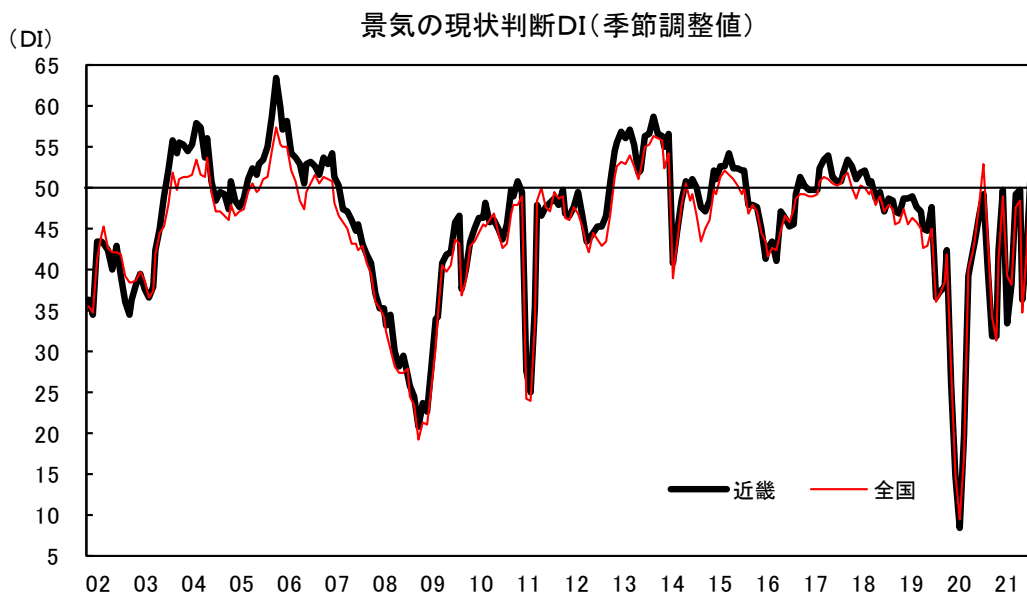
家計動向関連	良くなっている	観光型ホテル(経営者)	・10月に緊急事態宣言が解除され、旅行の県民割も始まったので、3か月前とは比較にならないほど良くなっている。ただし、11月もGo To Travelキャンペーンが実施されていた前年と比べると、7割程度の販売量にとどまっている。
		観光型旅館(経営者)	・Go To Travelキャンペーンの代わりとなる旅行の地域割のお陰で、10月から売上が増加している。前年ほどは良くないが、2年前の90%までは回復してきている。
		観光型旅館(経営者)	・旅行の府民割の開始時期と、カニのシーズンのタイミングが合い、業界は潤っている。
		都市型ホテル(フロント)	・大阪独自の事業である、大阪いらっしやいキャンペーンがスタートし、相当数の予約が入っている。
		都市型ホテル(販売促進担当)	・新型コロナウイルスの感染が収まった影響で、11月の客室の平均稼働率は60%に近づいた。特に、土曜日や休日は80%を超えており、人気テーマパークなどを訪れる観光客が増えている。レストランでもランチはリピーターが増え、好調に推移している。ディナーも24日からの大阪のいらっしやいキャンペーンによる、宿泊と夕食のセット予約がかなり入っている。
	やや良くなっている	コンビニ(店員)	・来客数に大きな変化はないが、少しずつ新規の客が増えていると感じる。数名の旅行者による来店も増えてきた。近隣のホテルで発行されている、地域振興クーポンなどの利用者もかなり増えている。
都市型ホテル(客室担当)		・秋の観光シーズンで紅葉が見頃のピークを迎え、週末の稼働は満室近くまで回復した。京都府の府民割の効果もあり、月間の稼働率も80%程度に回復している。	
旅行代理店(役員)		・兵庫県の県民割の開始に伴い、県内からの客を中心に、来客数が伸びている。	

「新型コロナ変異株」関連のコメント(先行き判断)

家計動向関連	良くなる	百貨店(マネージャー)	・全体的に慎重な購買姿勢は続いているが、人流の増加などで、年末年始商戦は前年比で大きく改善すると予想される。今後は、新型コロナウイルス変異株や韓国などでのブレイクスルー感染の動向が、購買心理を左右するほか、原油相場の高騰による物価上昇なども新たな懸念材料となる。
		衣料品専門店(店長)	・新型コロナウイルスの影響として、感染第6波や新型コロナウイルス変異株の状況など、まだまだ注視が必要な部分はあるが、年末年始商戦の動きは良くなってきている。
	やや良くなる	旅行代理店(支店長)	・Go Toキャンペーンの内容が発表され、具体的に旅行を計画する客も増加している。新型コロナウイルス変異株や感染第6波の影響が懸念されるものの、感染防止も日常となり、徐々に人との交流を考え始める客も増えているため、やや良くなると予想している。
		一般小売店[時計](経営者)	・新型コロナウイルスの新規感染者数が目に見えて減少し、このまま落ち着くと期待していたが、新しい新型コロナウイルス変異株のニュースが出てきた。年末年始で気持ちが華やぐ時期であるが、予定が何もないという話も聞く。先行きに期待をしないのが通常感覚となっており、寂しい年末年始になると感じる。
	変わらない	一般小売店[野菜](店長)	・新型コロナウイルス変異株の感染が、日本で広がる気配が出てきている。世界的にもこの変異株の影響がどう広がるかは分からないため、結果として悪くなる可能性もある。
		百貨店(売場主任)	・新型コロナウイルス変異株の感染状況次第と考えられ、大きな変動要素となっている。
		百貨店(企画担当)	・新型コロナウイルス変異株による、感染状況次第となる。
		百貨店(販売推進担当)	・景気浮揚策が実施されれば急回復が期待されるが、新型コロナウイルス変異株が出現するなど、まだまだ予断を許さない。
		百貨店(売場マネージャー)	・現状は新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着いているものの、新型コロナウイルス変異株が発生しており、予断は許されない。
		百貨店(特選品担当)	・今までの傾向では、新型コロナウイルスの感染第6波が到来するとの懸念もあったが、ワクチン接種が進んだこともあり、現在は穏やかな回復を見せている。ただし、新型コロナウイルス変異株の発生や、ガソリン価格の高騰など、通常の生活を送る上での懸念材料も多く、先行きが見通せない。
		スーパー(経営者)	・このままコロナ禍の収束状態が続き、Go Toキャンペーンなどが実施されれば、上向くことも考えられる。一方、新型コロナウイルス変異株も発生するなど、先行き不透明な部分もある。
		スーパー(経営者)	・新型コロナウイルス変異株の発生による影響が世界に波及すれば、更なる物流の停滞、輸送費の高騰などで、原価の上昇圧力が発生する。景気の悪化につながる事が予想されるため、早めの3回目のワクチン接種や経口治療薬の認可などが求められる。安心感が広がらない限り、消費マインドは減退することが懸念される。
		スーパー(販売促進担当)	・新型コロナウイルスの新規感染者数は落ち着きつつあるが、新型コロナウイルス変異株の感染拡大のおそれもあり、しばらくは現状維持を予想している。

家計動向関連	変わらない	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス変異株や感染第6波の影響が、どの程度広がるかは分からない。
		通信会社（企画担当）	・新しい新型コロナウイルス変異株が出てきたり、北海道でのクラスター発生など、感染第6波への不安があるため、年内は一気に景気が回復するまでには至らない。
		競輪場（職員）	・例年であれば良くなる傾向となるが、年始以降は物価の上昇が予想されているため、余り変わらない。新型コロナウイルス変異株が出てきているため、仮に緊急事態宣言が発出された場合は厳しくなる。
		その他レジャー施設 〔イベントホール〕 （職員）	・新型コロナウイルスの感染が日本では落ち着きをみせているが、海外では新規感染者数の増加がみられるなど、感染再拡大への不安がある。新型コロナウイルス変異株の感染状況によっては、景気の落ち込みにつながる。
		その他サービス〔学習塾〕 （スタッフ）	・ようやくコロナ禍が落ち着いてきたようであるが、今後は新型コロナウイルス変異株の影響がどう出るかが分からない。
	やや悪くなる	コンビニ（店員）	・コロナ禍もようやく落ち着いてきたが、新型コロナウイルス変異株がいつ入ってくるかも分からない状態であり、先行きへの危機感が強まる。
		衣料品専門店（販売担当）	・また新たな新型コロナウイルス変異株が発生し、海外からの流通への影響を考えると、非常に不安である。
		通信会社（社員）	・新型コロナウイルス変異株の影響で、また緊急事態宣言が発出された場合を想定すると、今以上に客足が遠のき、販売も減少する。
		美容室（店長）	・10～11月と新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いており、来客の増加が期待できるものの、新型コロナウイルス変異株の発生で、先行きの見通しはやや厳しい。
		その他住宅〔情報誌〕 （編集者）	・新型コロナウイルス変異株の感染状況次第で、景気は変化する可能性が高いものの、このまま新規感染者数の減少が続けば、年末年始に向けて旅行や飲食の動きが活発化し、住宅の購入検討者数は更に減少する可能性が高い。
企業動向関連	変わらない	食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルス変異株の感染が拡大し始めると、また以前の自粛生活に戻る可能性があるため、景気はそれほど変わらない。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルス変異株の発生、半導体不足、石油価格の上昇とマイナス要素は多く、それに対応して部品の調達を海外から国内に移した取引先もある。状況は楽観視できないが、悲観することもなく、現状維持と予想される。
	やや悪くなる	出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	・新型コロナウイルス変異株の影響で、これまで回復してきた受注量が、再び減少することを危惧している。
		不動産業（営業担当）	・新型コロナウイルス変異株の発生で、株価が暴落している。今後は欧州や世界全体に感染が広がることも懸念され、将来の見通しは弱含みとなっている。
		司法書士	・新型コロナウイルス新規感染者数の減少が続いており、この状態が継続すればよいと考えていた矢先に、新型コロナウイルス変異株のニュースが出てきた。確かなことは分からないが、各国の動きを見ていると、厳しい状態になることが予想される。
雇用関連	やや良くなる	人材派遣会社（管理担当）	・このまま新型コロナウイルスの感染が落ち着けば、求人数が増加してくる。ただし、新型コロナウイルス変異株の感染状況が気になるところである。
	変わらない	職業安定所（職員）	・半導体や部品不足による製造業への影響が続いている。新型コロナウイルス変異株も確認されたため、景気の停滞が懸念される。
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染第6波の懸念が、新型コロナウイルス変異株の発生で顕在化してきた。これから寒くなるなか、人流が増える時期とも重なって感染の拡大が進めば、経済活動にも影響が出てくる。
	な悪くなる	民間職業紹介機関（職員）	・新型コロナウイルス変異株の感染が海外で急拡大しているため、日本にも影響が広がり、感染第6波につながる可能性がある。

(DIの推移)



(近畿地域のDI)

		19年		20年											21年											
		11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
現状判断	近畿	37.4	38.0	42.4	26.1	14.7	8.3	19.6	39.3	42.0	43.4	46.7	49.2	39.9	31.7	31.7	42.4	49.8	33.3	38.2	49.3	49.7	36.2	42.0	52.3	54.1
	(全国)	37.2	38.3	41.9	27.9	14.9	9.4	17.0	40.0	42.2	43.7	47.8	53.0	43.8	34.3	31.2	41.3	49.0	39.1	38.1	47.6	48.4	34.7	42.1	55.5	56.3
先行き判断	近畿	46.1	45.2	40.4	25.3	20.0	20.2	39.6	42.5	34.6	42.8	44.9	44.4	33.9	37.6	38.4	51.6	46.9	39.2	50.1	50.3	46.2	43.9	54.5	55.0	51.3
	(全国)	44.5	44.6	41.4	24.8	19.8	17.9	37.9	44.6	36.7	42.9	47.1	47.7	35.0	36.1	39.9	51.3	49.8	41.7	47.6	52.4	48.4	43.7	56.6	57.5	53.4

※季節調整値